

参加
無料

流れで見る 物理の世界

強い風の風圧に逆らって歩くのは大変です。

でも、強風で屋根が飛ぶのは風圧ではなく、むしろ風で吸い上げられるからです。

風が吹くと、池にさざ波が立ちます。潮が満ちてくるときにも波が立ちます。

飛んでいる雲の先端には、しま模様が見えます。

これらの背後には、共通の物理の法則があるようです。

これまでは、「落下運動」「回転運動」「振り子」「波」について法則を見出してきました。

このセミナーでは、「流れ」に伴う様々な現象を観察しながら、その法則を探っていきます。

数式から出発するのではなく、参加者の皆さんと実験と観察を行い、考えながら進めていきます。

講師：中山 正敏 氏（九州大学名誉教授）

日時：2019年8月8日（木）

2019年9月19日（木）

2019年10月17日（木）

2019年11月21日（木）

いずれも19:00～20:30

場所：4階実験室1（8/8のみ実験室3）

料金：無料

対象：高校生以上（推奨）

講師：中山 正敏氏

（九州大学名誉教授）

1936年 福岡県に生まれ、福岡県立修猷館高校から東京大学に進み、同大学理学部物理学科を卒業、同大学大学院数物系研究科博士課程修了、理学博士、東京大学助手、九州大学助教授、米国ブラウン大学客員教授、九州大学教授、放送大学教授などを歴任。主な著書に『ひとりで学べる電磁気学』（講談社）、『物質の電磁気学』（岩波書店）、『環境理解のための熱物理学』（共著、朝倉書店）などがある。

全4回行うセミナーですが、
1回だけでも途中からの参加でも、
どうぞお気軽にご参加ください。

